

## 長谷川議員・福浜議員 要望項目一覧

平成28年度当初分

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p>1、農業関連</p> <p>○全国トップ3の種雄牛誕生を最大の好機と捉え、『和牛王国鳥取』を確立するための施策と海外を含めた市場開拓、その予算確保に全力をあげるよう求める。</p>	<p>「和牛王国鳥取」の復活を目指し、生産基盤の整備や和牛生産頭数の増加を図るとともに、鳥取和牛のブランドを強化をするため、2月臨時議会予算及び当初予算で次の施策を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【2月補正】畜産クラスター施設整備事業〔肉用牛〕 57,469千円</li> <li>・【2月補正】和牛改良・増頭対策事業 28,854千円</li> <li>・【2月補正】和牛受精卵・放牧拡大支援事業 8,380千円</li> <li>・【2月補正】鳥取の牛肉ブランド強化対策事業 9,718千円</li> <li>・【2月補正】「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業 42,742千円</li> <li>・和牛改良・増頭対策事業 98,416千円</li> <li>・「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業 39,335千円</li> </ul>
<p>2、林業関連</p> <p>○林業は1万㎡の切り出しに20人と雇用創出に直接的な効果があると言える。</p> <p style="padding-left: 2em;">中山間地維持、正規雇用拡充からも林業振興関連施策の充実を求める。</p>	<p>林業が地域の雇用創出を担う成長産業として飛躍をしていくため、林業振興関連施策の充実について、2月臨時議会予算及び当初予算で検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【2月補正】造林事業 434,548千円</li> <li>・造林事業 829,958千円</li> <li>・間伐材搬出等事業 702,000千円</li> <li>・鳥取県版緑の雇用支援事業 115,973千円</li> </ul>
<p>3、漁業関連</p> <p>○「お嬢サバ」「キジハタ」等の栽培漁業、陸上養殖技術の確立について、市場開拓含め必要予算の確保を求める。</p>	<p>マサバ等の陸上養殖技術の開発やキジハタ等の栽培漁業定着への支援を行うとともに、市場性の調査を行うこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖事業展開可能性調査 6,202千円</li> <li>・資源増殖推進事業 17,693千円</li> <li>・キジハタ栽培漁業実用化支援調査 4,344千円</li> </ul>
<p>4、福祉関連</p> <p>○「福祉人材確保」をより効果的に進めるため、求職者紹介や潜在有資格者の開拓・再就労等の支援を行う「キャリア支援専門員」の配置を検討されたい。</p>	<p>平成28年度に福祉人材の育成、確保、離職防止等を目的に、福祉現場の現状と問題を把握、分析する調査を検討中であり、その結果を踏まえて、今後、効果的な事業を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県社会福祉協議会活動費交付金事業 99,535千円</li> </ul>
<p>○手話通訳派遣に伴う団体負担助成について、派遣単価の引き上げに伴い、福祉団体の出費が増えた。あいサポート推進の意味でも助成増を求める。</p>	<p>手話言語条例制定に伴って、手話通訳者の処遇改善を図るため、平成26年度から派遣単価/時間を2千円から3千円に引き上げているが、一方で、手話通訳者を2名以上派遣する場合には1名分を県費で負担することにより、派遣依頼団体の負担軽減を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話でコミュニケーション事業（手話通訳者設置・派遣事業） 33,607千円</li> </ul>
<p>○昨年11月、県腎友会主催で慢性腎臓病CKD関連の「県民健康講座」が開催された。『成人の8人に1人がCKD患者』との現状や医療費抑制を鑑み、県民の</p>	<p>慢性腎臓病（CKD）対策として、平成27年度に鳥取県腎友会との協働による県民健康講座をはじめ開催し、県民に対する理解促進を図った。</p> <p>補助制度は考えていないが、今後も、鳥取県腎友会との協働による一般県民向けの取り組みを継続</p>

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
意識啓発のため継続実施のための補助を求める。	実施していきながら、県民の理解が深まるよう取り組んでいく。 ・慢性腎臓病（CKD）予防対策事業 766千円
○主任児童委員の年齢要件は、鳥取県が示す「民生委員推薦会の手引き」では原則55歳未満となっている。しかし現状は57歳平均で、年齢要件を理由にした再任辞退が増えている。年齢要件を65歳に引き上げるよう求める。	本県における主任児童委員の年齢基準については、厚生労働省が「主任児童委員選任要領」に示す基準を踏まえ、新任・再任を問わず原則55歳未満の者としているが、55歳以上の者であっても、各推薦会において主任児童委員としての積極的な活動が期待できると判断した場合、意見書を添付することで推薦できることとする運用を行っている。 一方で、前回一斉改選（平成25年12月）時点で、主任児童委員の6割が55歳以上となっている現状があり、社会福祉審議会の意見を聞いた上で、年齢要件の引上げ等を、幅広い人材の確保、関係機関との連携の円滑化や新任委員の人材育成等を図る観点から、平成28年度の一斉改選に向けて見直しを検討する。
5、教育関連 ○「メディア21：00運動」が全県民的な運動となるよう支援を求める。	県教育委員会では保護者をはじめとする大人へのケータイ・インターネットとのよりよい接し方について教育啓発を行っており、鳥取県PTA協議会が主体的に取り組んでいる「メディア21：00運動」と連携した取組を推進することとしている。 ・ケータイ・インターネット教育啓発推進事業 6,355千円
○県外生徒の獲得は、人口が少ない本県にとり極めて有益な手段と考える。 下宿・寮の確保が困難との弊害を是正できるよう行政支援の拡充を求める。	生徒受入のための寄宿所の手当てについては、具体的な利用希望があれば、未利用県有施設の活用なども可能となるよう調整していく。
○県内専修学校に進学する生徒は、卒業後に県内に就職する割合が高い。 県内高校の進路指導担当と専修学校との連絡協議会の設置を求める。	県教育委員会としては、毎年6月に進路指導研究協議会を開催し、県内大学等からの説明と質問、意見交換の時間を設けている。県内専修学校においても、希望があれば、この協議会の中で協議時間を設定するなど、私立高校とも連携して相互理解や意見交換の場を設けることを検討したい。
6、障がい者アート活動支援関連 ○「障がい者芸術文化祭」への県民気運向上のため、鹿野町かちみ園製作のキャラクター『ウマモナド』を活用したアート事業支援を要望する。	障がい者が所属する団体等が広く県民を対象として開催する作品展や舞台公演等を開催する経費を補助する「障がい者アート活動支援事業補助金」（1団体：上限20万円）において、障がい者アートを活用した取り組みについても対象となるため、ウマモナドを活用したアート事業についてもこの補助金で支援したい。なお、当該補助事業は当初予算で検討している。 ・障がい者アート活動支援事業補助金 18,000千円 また、県としてもウマモナドを創作した「かちみ園」と連携して、あいサポート・アートとっとり祭りなど、機会を捉えてウマモナドを紹介したい。
7、“すなばスポーツゾーン”設置について ○“すなば（ビーチ）スポーツ”について、県民が広く認知して自らも楽しみ、鳥取県の新たな観光誘客の柱とするため、常設施設の設置を求める。	施設の概要等関係者によく聞いた上で、鳥取市と意見交換する。